



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 1 9 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 小林 秀徳

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	5 0 分	受 付	8 月 1 9 日	<u>午前</u> / 午後 8 時 3 0 分
発言の種類	☒ 一般質問 ・ 本会議質疑 ・ 委員会質疑 ・ 討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 令和 8 年度政策執行及び予算編成に関する要望について 令和 7 年 8 月 2 5 日に、新城市議会が市長に提出した「令和 8 年度政策執行及び予算編成に関する要望書」は、単なる提案ではなく、市議会として翌年度の市政運営の方向性を示し、予算編成に議会の政策的意思を反映させる重要な役割を持っている。市の予算は、市長・行政側が案を作り、市議会が審議・議決する。行政側の各部局が市民の意見や地域の状況を踏まえて事業を検討し、市長が予算案をまとめ、その後、市議会が審議して決定する。その上で、今回令和 8 年度政策執行及び予算編成に関する要望に基づき、各事業について伺う。 (1) 予算編成への議会の政策提言として、令和 8 年度は、市民サービスを充実させる一方で、財政規律も守るという意識から「財政健全化」と「政策推進」の両立が重要であるとの認識より、予算編成に関する要望を図るうえで、上半期を踏まえた新城市の財政健全化の取組状況は。 (2) こども園、小中学校の要望に対する実現状況は。 (3) 健康・市民自治分野の要望に対する実現状況は。 (4) 環境・公共施設分野の要望に対する実現状況は。 (5) 道路・防災・地域基盤の強化について、令和 8 年度の要望に対する実現と実施状況は。 (6) 産業基盤強化に対する、鳥獣害対策、耕作放棄地の解消、新規就農支援等農業人材力強化、森林の公益的機能などの要望に対する実現と実施状況は。 2 議会要望に関し令和 8 年度予算からは、明確な実現が確認できないものについて 令和 8 年度予算は、議会要望をかなり意識した予算編成になっていると感じている。しかし、重要な項目として議会がかなり具体的に要求したが、確認できな				

(2/2)

い項目について以下何う。

(1) 小中学校体育館への空調設備の設置について

(2) 特認校への交通費助成について

(3) 新城市風力発電施設等の建設等に関するガイドラインにおける建設の基準の見直しについて

発 言 通 告 書

2 (1/2)



令和 8 年 8 月 1 9 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員

滝川健司

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	6 0 分	受 付	8 月 1 9 日	午前 / 午後 8 時 36 分
発言の種類	☒ 一般質問 ・ 本会議質疑 ・ 委員会質疑 ・ 討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 豊川流域上下水道広域連携について 上下水道事業は、人口減少や節水機器等による料金収入の減少、施設の老朽化・地震対策など維持管理支出の増加、熟練職員の退職による人材不足サービス水準の低下など厳しさが増している。本年 1 月 2 9 日に豊川流域上下水道広域連携協議会 (仮称) 準備会第 1 回会議が開催された以降の準備会での協議状況、東三河地域の現状と課題、広域連携の取組検討、広域連携の期待されるメリットと課題、今後の取組への課題と住民への説明、矢作川流域上下水道広域連携協議会との一体化と今後のスケジュールについて伺う。 2 ウォーター P P P 導入可能性について ウォーター P P P とは、上下水道などの水インフラについて自治体が責任を持ちつつ、民間企業と長期契約で維持管理・更新や運営を一体的に行い、将来的なコンセッション方式への移行も視野に入れた官民連携スキームのこと。主に老朽化対策、人手不足、財政負担の軽減を目的として国が推進している。 本年 6 月、ウォーター P P P 導入可能性調査業務が発注されたが、導入可能性調査に至った経緯と広域連携との整合性について伺う。 3 電磁的記録式投票制度について 電子投票は、2 0 0 2 年岡山県新見市で全国初めて実施された。2 0 0 3 年岐阜県可児市の市議選では機器のトラブルで一時投票ができなくなり、最高裁で選挙の無効が確定し電子投票が定着しなかった要因となった。その後総務省は、2 0 2 0 年タブレットを使った電子投票を解禁し、大きなトラブルがなかったことにより電子投票導入を検討する自治体が増加している。愛知県でも今年に入り、みよし市や東浦町は、来年以降の議員・首長選挙で電子投票導入を目指すことを明らかにした。				

本市において電子投票導入の可能性と、それに向けての課題等について伺う。

4 奥三河DMOについて

2018年3月、観光庁の「日本版DMO」として愛知県初の登録を受けた奥三河観光協議会は、来年迎えるDMO登録更新をしないことを表明した。更新を断念した経緯と奥三河観光DMOが地域観光振興に果たしてきた役割・成果、今後の方向性について伺う。



発 言 通 告 書

令和 8年 8月 19日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 竹 下 修 平

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	50分	受付	8月19日	<u>午前</u> / 午後 8時40分
発言の種類	<u>一般質問</u> 本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)について (1) アジア競技大会の概要は。 (2) 市内における競技開催スケジュールとその内容は。 (3) 競技実施に向けて、準備の進捗状況は。 (4) 競技実施日に新城市としての催しの有無は。 (5) 競技実施期間中における来場客の動員見込みと想定される経済効果は。 (6) 観戦者駐車場の詳細は。 (7) 市内におけるアジア競技大会関連イベントの開催状況と今後の計画は。 2 空き地・空き家等の適正管理について (1) 市内における空き地・空き家周辺の雑草繁茂の現状認識は。 (2) 現行制度による行政対応の状況は。 (3) 所有者が管理できない空き地・空き家への対応は。 (4) 行政・地域・民間が連携した草刈り支援制度の創設や、空き地の草刈り・除草サービスをふるさと納税返礼品にするなど、新たな対応の可能性は。 (5) 「空き地・空き家等の適正管理条例」の制定を見据えた調査・研究の状況は。				



発 言 通 告 書

令和 8年 8月19日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 鈴木 長 良

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	8月19日	<u>午前</u> /午後 8時48分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 本市の小中学校における防火対策と避難体制の強化について 本年6月19日に、東京都北区立滝野川第三小学校で発生した火災では、教職員が斜降式救助袋の使用を試みたものの使用が困難と判断し、窓からの避難に切り替えるなど、通常の避難計画とは異なる対応がとられた。この事案は、消防設備等の整備や訓練を実施していたとしても、実際の火災現場では、火煙の状況や避難経路の安全性などにより、あらかじめ想定していた避難方法を変更せざるを得ない場合があることを示している。同時に、教職員には刻々と変化する現場の状況を的確に把握し、それに応じて柔軟に判断する力が求められることと合わせ、想定外の事態にも対応できる実践的な避難訓練の重要性を示す事例であったと考える。本市においても学校は多数の児童生徒が一定時間、集団で生活する施設であり、ひとたび火災が発生すれば、初動対応や避難誘導の適否が生命と安全を左右することになる。 かけがえのない児童生徒の生命と安全を守るために、学校における防火対策や避難体制について不断の点検を行うとともに、実際の災害を想定したより実効性の高い訓練を重ねていくことが重要である。そこで学校における防火対策及び避難体制の更なる充実を図る観点から以下、伺う。 (1) 小中学校における避難・防災訓練について ア 年間実施計画・実施内容及び訓練の実効性について イ 危機管理マニュアル及び消防計画等の整備・見直しについて (2) 学校施設の消防用設備・避難設備及び避難時の安全対策について (3) 消防本部との連携について ア 過去10年間に、市内の小中学校で発生し、本市の消防本部が火災として取り扱った事案の件数及び人的被害の有無について イ 学校における出火防止に向けた注意喚起及び点検の取組について				

ウ これまでの訓練等を踏まえ、消防本部から学校側に対して示されている改善・充実すべき意見について

(4) 火災発生時における教職員の対応体制と研修について

ア 初期対応及び避難誘導における教職員の役割分担について

イ 教職員を対象とした火災対応研修について

(5) 火災等に伴う児童生徒の心理的影響への対応について



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 19 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 鈴木 達 雄

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	8月19日 午前/午後 2時34分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)			
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 命を守る防災行動について (1) 本市の市民は、自らの生活圏内の土砂災害リスク、洪水リスク等を把握している状況にあるか認識を伺う。 (2) 令和8年5月末から運用開始した新しい防災気象情報の活用について伺う。 ア 防災気象情報の変更した内容が市民に周知されているか。 イ 市民の自らの命を守る防災行動に、より有効に生かされるか。 (3) 地震への防災行動について伺う。 ア 本市の住宅耐震化の現状と、市民の住宅耐震化への意識、行動は。 イ 緊急地震速報の市民の防災行動への効果は。 ウ 市民は地震時に取るべき自らの命を守る防災避難行動を把握しているか。 エ 市民の避難時携行品、備蓄品等の必要性への理解、準備の状況は。 2 クマ対策について 昨年度は本市北東部でクマの出没や錯誤捕獲、本年度5月には本市に隣接する浜松市の人里でクマが徘徊し駆除された。ついに来たかというのが実感である。本市のクマ対策について伺う。 3 J R 飯田線本長篠駅の利便性確保について 整備が進む J R 飯田線本長篠駅の利便性の確保について以下伺う。 (1) 単線化しても列車の便数は確保、維持できるか。通勤通学の便の利便性は確保出来るか。 (2) 利用客用トイレは整備出来るか。			



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 2 1 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 中 西 宏 彰

下記のとおり発言したいから通告します

所要時間	6 0 分	受付	8 月 2 / 日	午前 / 午後 / 時 / 分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 豊橋新城スマートインターチェンジ周辺地域の振興策について 東名高速道路の豊橋新城スマートインターチェンジについては、工事が進み形状が見えてきたことで、供用開始の期待感がより高まっている。スマートインターチェンジの実現は、インターチェンジ周辺に企業の誘致や雇用機会が期待でき、八名地域の発展や人口の流出を防ぐ一助になるものとして、地域の活性化に大いに期待している。そこで振興策について以下伺う。 (1) 豊橋新城スマートインターチェンジ供用開始日の決定は。 (2) 豊橋新城スマートインターチェンジ供用開始に伴うセレモニーの開催は。 (3) 豊橋新城スマートインターチェンジ供用開始に伴うイベントの開催計画は。 (4) 豊橋新城スマートインターチェンジ供用開始に伴い、本市への経済効果をどのように見込んでいるか。 (5) 企業用地造成事業の地権者への説明会の状況は。 (6) 交通量の増加が見込まれるが、周辺道路整備の進捗状況は。 (7) 新たな雇用創出に伴う居住政策のその後の考えは。 (8) 地域振興のためには、スマートインターチェンジ周辺地域における「遊・職・住」の環境が必須と考えるが市の見解は。 2 新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設の環境対策について 施設の操業開始から 10 年が経過し、本年 3 月に 2 度目の更新の許可が下りたが、地域住民から依然として臭気に対する不安の声が大きく、大変憂慮される状況が続いている。そこで今後の環境対策について以下伺う。 (1) 本年 3 月末の更新許可以降、市に入った苦情等の状況は。 (2) 悪臭への対応として、6 月定例会では愛知県と連携・協力していくと答弁されたが、その後の対応状況は。				

- (3) 県との連携以外で、市が独自に当該企業に対して悪臭を出さないための指導をしているのか。
- (4) 地域・市民が辛い思いをしており、市民の生活環境が保たれていない状況にあることは操業開始当初から変わっていない。解決に向けて県、市、市民はどうすべきだと考えるか。
- (5) 八名区長会と当該企業との話し合いの進捗状況は。



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 24 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員

浅 尾 洋 平

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60 分	受 付	8 月 24 日 <u>午前</u> / 午後 8 時 57 分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)			
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 防災・減災対策について 最近では、熊本地震・千葉県での豪雨など災害が頻発しており、被災地の各自治体は対応が求められている。南海トラフ地震などの大規模災害に備え、被害を最小限にするとともに、避難後の生活によって災害関連死を招かないためには、住宅の耐震化、ライフラインの強靱化、避難所の環境整備及び運営体制の充実が重要である。本市の防災・減災対策について、計画に掲げられた取組が実際の災害時に機能するものとなっているか、以下伺う。 (1) 住宅の耐震化について、現在の耐震化率、耐震診断及び耐震改修の実施状況と、耐震化が進まない要因について伺う。 (2) 水道管路の耐震化について、現在の耐震化状況と、大規模災害時に避難所や医療機関等への給水を確保するための取組について伺う。 (3) 災害時の避難所について、学校体育館の空調整備の現状と今後の計画、空調整備までの避難者の健康・安全を確保するための対策 (避難所におけるベッド、パーティション、トイレ等の環境整備の状況等) について伺う。 (4) 高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児等の要配慮者への対応、女性の視点を取り入れた避難所運営及び実際の災害を想定した避難所開設・運営訓練について伺う。 2 固定資産税の適正な課税と市民相談への対応について 固定資産税は、市から納税通知書が届けば、その内容は正しいものと市民は受け止めるのが一般的である。一方で、課税内容に誤りが生じる可能性もあることから、市民自身が課税内容を確認することも重要である。また、市民から課税内容について疑問や相談があった場合には、その声を丁寧に受け止め、必要な確認を行う行政の姿勢が求められる。今回の市民からの相談を踏まえ、以下伺う。			

- (1) 固定資産税の課税誤りの実態と、その発生原因について伺う。
- (2) 市民から固定資産税の課税内容について疑問や相談があった場合の、市の確認・調査の体制について伺う。
- (3) 課税誤りが判明した場合の更正・還付等の対応と、同様の誤りを防ぐための再発防止策及び市民が安心して相談できる窓口対応について伺う。

3 新城さくら pay 生活応援券の利用環境について

物価高騰による市民生活への支援と地域経済の活性化を目的として実施されている新城さくら pay について、スマートフォンを持たない高齢者から「商品券を受け取っても、日常的に利用する店舗でカード方式による決済ができず、使うことができなかった」との相談があった。生活支援策として、年齢やデジタル機器の利用状況にかかわらず、市民が実際に利用できる制度となっているか、以下伺う。

- (1) 新城さくら pay の事業概要・事業費・利用状況と、カード方式による決済に対応している取扱店舗の状況について伺う。
- (2) スーパー、ドラッグストア、食料品店等、市民生活に必要な店舗におけるカード方式の利用状況と、高齢者などスマートフォンを持たない市民への対応について伺う。
- (3) 商品券を実際に利用できなかった市民からの相談や問い合わせの状況とスマートフォンを持たない高齢者等を含め、市民がより利用しやすい制度とするため今後の改善について伺う。



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 24 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 白頭 聖志

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60 分	受付	8 月 ²⁴ 日 午前/午後 10 時 13 分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 市道の維持管理状況について 市民から、市道の法面の雑草の管理がされていなくてとても危険であるし、通行に支障があるような道路もあって困っていると言う声が多く寄せられているため以下伺う。 (1) 市道には、新東名高速道路の側道も含まれるか。 (2) 市道の維持管理計画は。 (3) 市民からの苦情があった時の対応は。 (4) 市道の維持管理予算は。 2 新城市の備蓄計画及び避難所の充実について 昨今の異常気象からくる大雨災害や能登半島や熊本県に見られるような直下型地震、また近々起こるであろう南海トラフ地震等に対応するための市の対策について以下伺う。 (1) 現在の備蓄資材に避難者の個人、家族のプライバシーを配慮した資材数は。 (2) 食糧備蓄の備蓄内容は。 (3) 避難所となっている学校の冷暖房設備の設置計画は。 3 新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設について (1) 令和 8 年度半期の臭気の苦情件数と主だった内容は。 (2) 廃棄物の搬入量と搬出量を確認したか。			

9(11)



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 24 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 古瀬 剛

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	40 分	受付	8月24日 午前/午後11時00分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)			
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 新城市役所内のハラスメント事案と対処方法などの現状について 以下伺う。 (1) 市役所内の職員間のハラスメントの現状の把握は。 (2) ハラスメントへの対応が後手後手に回っている事例を見聞きするが対応は。 (3) ハラスメントへの対応を現状の対策にとどまらず、組織的に対応する考えはあるか。			



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 24 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 加 藤 稜 唯

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	50分	受付	8月24日 (午前) / 午後 11 時 18 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)			
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 部活動の地域展開について (1) 部活動地域展開の進捗状況と課題は。 (2) シスタースクール制度と新城クラブ、地域クラブの違いは。 (3) 一年後の休日部活動廃止に向けた生徒及び保護者への説明状況は。 2 スポーツツーリズム推進について (1) 第2次新城市観光基本計画中期アクションプランの進捗状況は。 (2) 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)のレガシーは。 (3) 後期アクションプランの策定状況と今後の課題は。			



発 言 通 告 書

令和8年8月24日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 村 田 康 助

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	50分	受付	8月24日	午前/午後	〔時〕〔分〕
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)				
発言事項(一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)					
発言要旨(一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)					
1 地域公共交通機関における地域課題について (1) J R 飯田線の東新町駅・本長篠駅の利用状況について伺う。 (2) 豊鉄バスの市内の利用状況について伺う。 (3) 高速バス(山の湊号)の利用状況について伺う。 (4) Sバス(ちさと線・塩瀬線・鳳来寺山もっくる新城線・海老連谷線・つくであしがる線)の動向について伺う。 (5) 地域公共交通の効果と住民に及ぼす影響について伺う。 2 鳥獣被害防止について (1) 対象鳥獣の種類について伺う。 (2) 被害の傾向と問題点について伺う。 (3) 有害鳥獣防除事業について伺う。 (4) 令和8年度のクマの出没状況と今後の対応について伺う。 3 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)について 市内で開催される大会をはじめ東三河では野球などが行われるが、市内の大会参加者・協力者などの状況について伺う。					



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 24 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 丸 山 隆 弘

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	8月24日 午前/午後 2時49分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)			
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 議会議員の定数と報酬、投票率向上について (1) 議員の定数18名に対する現状の認識と将来的な方向性を伺う。 (2) 報酬の現状と将来的な方向性を伺う。 (3) 昨年執行された市長・市議選の急激な投票率低下の要因分析を伺う。 (4) 今後執行される選挙の投票率向上に向けた対策を伺う。 (5) 若年層の主権者教育等、投票率向上に向けた取組を伺う。 2 本年4月から施行されている道路交通法改正について (1) 「自転車への青切符導入」、「自動車が自転車を追い越す際の新ルール」、「生活道路の法定速度30km/hへの引き下げ(9月1日施行)」、「仮免・本免試験受験年齢の17歳6か月への引き下げ」等、日常の運転に関するルールが大きく変わった。市民への周知について伺う。 (2) 職員の安全運転教育、コンプライアンス強化、就業規則等の検討整備を伺う。 3 防災対策について (1) 災害時の避難所の住環境設備の現状と課題を伺う。 (2) 集中豪雨による内水氾濫の想定箇所と課題を伺う。 (3) 水道施設の耐震化と断水への対策を伺う。 4 湯谷温泉街活性化基本構想について 基本構想の検討対象施設は、加温施設、配湯施設、鳳来ゆ〜ゆ〜ありいな3施設としている。鳳来ゆ〜ゆ〜ありいなのは、現状維持、完全民間移譲、一部廃止、廃止の4つが示されている。			

鳳来ゆ〜ゆ〜ありいな建設当時は、国・県補助金、東三河流域からの財政支援を受けてスタートし、湯谷温泉地と市内観光地への相乗をもたらしてきた。リニューアルへ向けての検討が期待されていることの認識を伺う。

5 2040問題を見据えた地域福祉体制について

- (1) 地区別の高齢化・人口減少に応じた地域福祉体制の取組を伺う。
- (2) 互助の仕組みを支える担い手の確保と連携強化の取組を伺う。



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 24 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 花 畠 志 保

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60 分	受付	8 月 24 日	午前/午後 3 時 25 分
発言の種類	☒ 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 乳児用「液体ミルク」の備蓄状況について 7 月 28 日に発生した令和 8 年熊本地震では多くの方が被災された。1 日も早く日常が戻り安心して暮らせるようになるよう心から祈るとともに、私にできることをしていきたいと思っている。被災された方の中には、まだ普通の食事が食べられない、いわゆる乳飲み子もいた。断水した地域も広く、懸命な復旧作業が進められるも (通告書を提出した) 8 月 24 日現在、まだ完全復旧には至っていない。このような状況下では普段粉ミルクで赤ちゃんを育てている家庭で赤ちゃんにミルクを作って飲ませる事は非常に困難であるが、ミルクしか飲めない赤ちゃんにとってそれは命に関わる重大なことである。そこで、お湯で溶かしたり哺乳瓶を使ったりせずにそのまま飲ませることのできる液体ミルクがとても役に立ったと報道で知った。新城市での液体ミルクの備蓄状況を確認するため、以下同う。 現在新城市では、災害時の備蓄品としての液体ミルクはあるのか。あるとしたら、それは市内のミルクが必要な赤ちゃんの数に十分足りている量なのか。不足しているまたは備蓄がない場合、その理由と今後備蓄品としての液体ミルクを十分な量を確保していく計画をどのように考えているのか。 2 本市における産休、育休制度について 京都府八幡市の川田翔子市長が 7 月 20 日から 11 月上旬までの予定で産休に入っている。新城市では前市長も現市長も男性であるため、市長が出産するという事は想定されていないかもしれない。しかし、去年の市長選では女性候補者が立候補し、新城市初の女性市長誕生なるか、という状況であった。今後、出産する可能性のある女性が市長になることも考えられる。そこで、以下同う。 (1) 現在の市長の産休、育休の制度はどのようなになっているのか。もし制度がない				

場合、必要になってから整えるのではなく、前もって整えておく考えはあるのか。
(2) 職員の産休、育休制度の内容と女性、男性それぞれの取得状況はどのようなになっているのか。

3 市内小中学校の体育館へのエアコン設置について
以下伺う。

- (1) 現在の設置状況は。
- (2) 今後の設置の計画は。



発 言 通 告 書

令和 8年 8月 25日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 今 泉 吉 孝

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60 分	受 付	8月25日 午前/午後 8 時30 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項(一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)			
発言要旨(一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 市民の経済状況などについて (1) 直近の生活保護受給者の人数を伺う。 (2) 増減の理由を伺う。 (3) これらに対する施策を伺う。			
2 本市の子ども食堂・地域食堂推進事業について 以前の答弁にて各団体に声掛けをして話し合う機会を持つとのことであったが、その後の進捗状況を伺う。			
3 「手話に関する施策の推進に関する法律」の施行について 「庁内外の連携を強化して推進していく」とのことであったが、その後の進捗状況を伺う。			
4 本市における高齢者対象の「見守りシステム実証実験」について (1) 主な内容を伺う。 (2) これによる効果を伺う。			
5 本市における文化的収蔵物について (1) 本市における文化的収蔵物の管理状況を伺う。 (2) 今後の課題と対応を伺う。			



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 25 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 山田 辰也

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60 分	受 付	8 月 25 日	午前/午後 8 時 40 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 本市の財政状況と健全化について 先日発表された新城市の経常収支比率は97.1%である。基準値から見ても樂觀視は出来ない状況である。悪化原因と今後の歳入確保や歳出見直しまた、行政改革について以下伺う。 (1) 近年進められている経費節約の中での経常経費上昇傾向に対する現状認識は。 (2) 人件費、扶助費、今後の大型事業の義務的経費増加の主な要因と今後の推移は。 (3) 財政健全化に向けた具体的な経常収支比率の目標値と達成年度は。 (4) 歳出の見直しとして補助金や委託事業の見直しや再構築の方針は。 (5) 公共施設の最適化を進めているが施設の統廃合の前倒しは。 (6) AI等の活用や業務の共通化・効率化による定数適正化や人件費抑制の方針は。 (7) 市有財産の処分・貸付による積極的な財源確保は。 (8) ふるさと納税制度などの寄附金による歳入の確保方法は。 2 理想的な新新城市民病院の未来について 全国の自治体公設病院の最大の課題は、約8割から9割にのぼる病院が赤字経営に陥っている深刻な点である。毎年の一般会計からの赤字補填を少しでも減らすための施策について以下伺う。 (1) 人口減少の中での患者数の確保方法は。 (2) 新城市民病院の経営における必要な予算額は。 (3) 赤字が出ない理想的な経営方法は。				